



原田 哲郎 上下水道部門（下水道計画）勤務先：㈱日水コン 北海道支所

私は、ちょうど10年前に㈱日水コンに入社し、入社当初から北海道支所に配属され、北海道の下水道の計画・設計に携わってきました。生まれは山口県、学生時代は鳥取県と、北海道はおろか東日本にすらほとんど行ったことのない私。いきなり北海道勤務と告げられたときにはかなり驚きました。しかし現在では北海道での暮らしの快適さや自然の豊かさ、人の良さ暖かさを知り、充実した生活を送っております。

私が社会人となり学んだことは、下水道に関する技術についてはもちろんのこと、特に人との交流やチームワークの重要性を学びました。一人では困難で苦しく、もしくは不可能なプロジェクトが、チームワークを活かせばよりスムーズにのりきれ、また達成した喜びも大きいです。

北海道における下水道の普及率は85%と非常に高く、下水道施設の新規整備は終焉しつつあります。しかしこれらの資産は、下水管28,500 km、処理場170箇所にもものぼり、放っておくと劣化し北海道の自然環境に悪影響を与えかねません。いかにこの資産維持の重要性を住民の方に理解して頂けるか、次世代にこの資産を有効に残していき、活かしていくかが重要になると思われます。

私事ですが、今年3人目の子供を授かり家族5人でにぎやかな生活を送っています。また今年の元旦からダイエットを始め、9カ月で12 kgの減量に成功しました。久しぶりにお会いする方々に「体大丈夫？病気？」と聞かれますが、私は非常に元気です。何事にもなせばなるの精神で、今後もがんばっていきたいと思います。



次号は、西村一郎さん（上下水道部門）



若林 隆司 水産部門（水産土木）／建設部門（建設環境）

勤務先：㈱アルファ水工コンサルタンツ

TEL (011)662-3331 E-mail: t-wakabayashi@ahec.jp

1956年(昭和31年)北海道小樽市生まれで現在48歳になりました。私は1979年(昭和54年)に入社し、1995年(平成7年)9月まで、北海道の漁港、増殖場及び海岸に関する現地調査、計画に携わり、その後(財)漁港漁村建設技術研究所(東京)に3年間出向しました。現在は環境保全室に在籍し、湖沼・閉鎖性海域・港内泊地などの水質環境保全に関する調査・解析を行い対策の検討を行っています。また、水域環境保全と食の安全から発展して、水産物のトレーサビリティシステムについても現在技術士仲間と共同で研究しています。

6年前、技術士に合格した際技術士の先輩から「技術士の資格を得ることだけが最終目的でなく、技術士は資格を得た後の技術研鑽ひいては社会にどれだけ貢献できるかである。」とのお話を伺いました。

また、今年の技術士全国大会は北海道(札幌)で9月に開催され「社会貢献」が大会テーマとなっており、我々技術士が各々の技術を活かした社会貢献を心がけて歩むことを改めて再認識しました。私も環境や食の安全をととして、社会に貢献できるよう努力していきたいと考えております。

最後に、私の好きな言葉を紹介します。それは「初心忘るるべからず!」。高校や大学に入学した時、会社に入社した時、技術士に合格した時、何となく純粋で何となく熱い思いを抱いていたことを忘れず、北海道のために(初心を思いだし)何か一つだけでも役に立てればと思っております。



次号は、谷口謹之さん（建設部門）